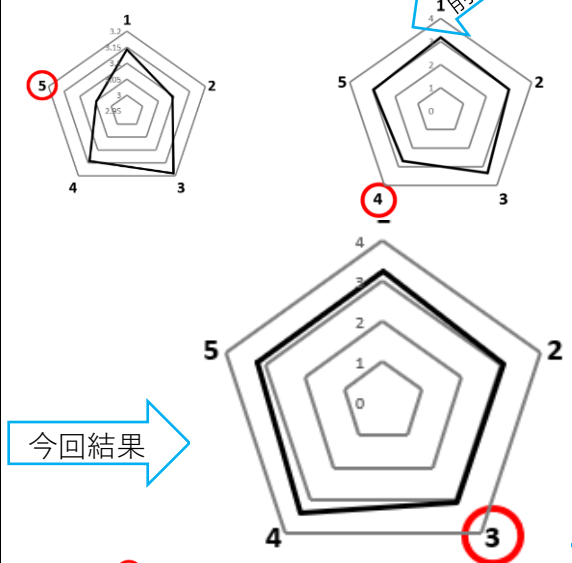
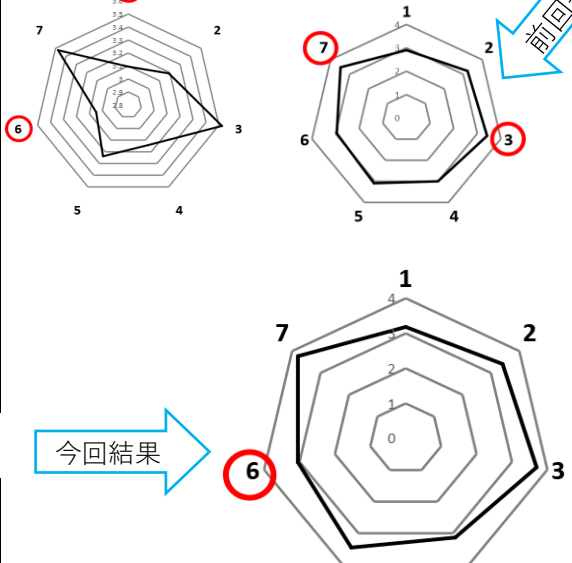
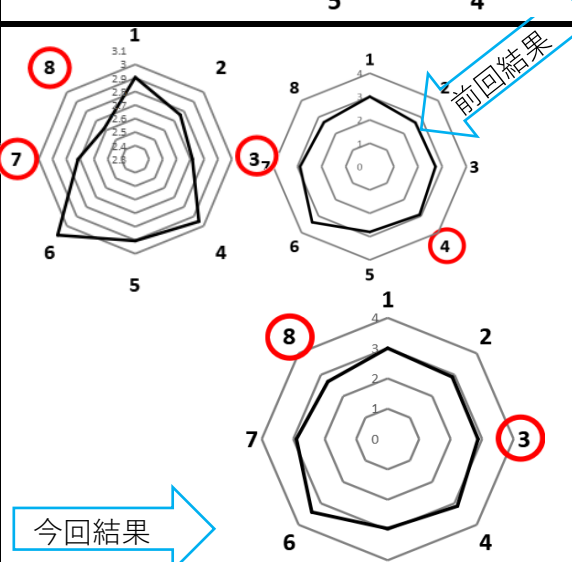
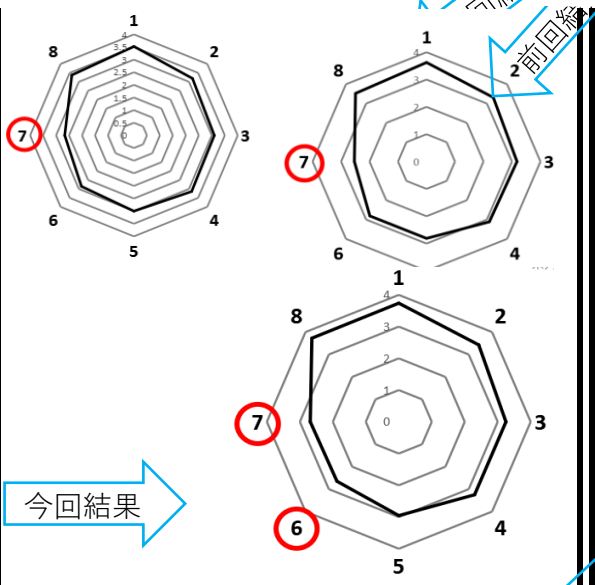
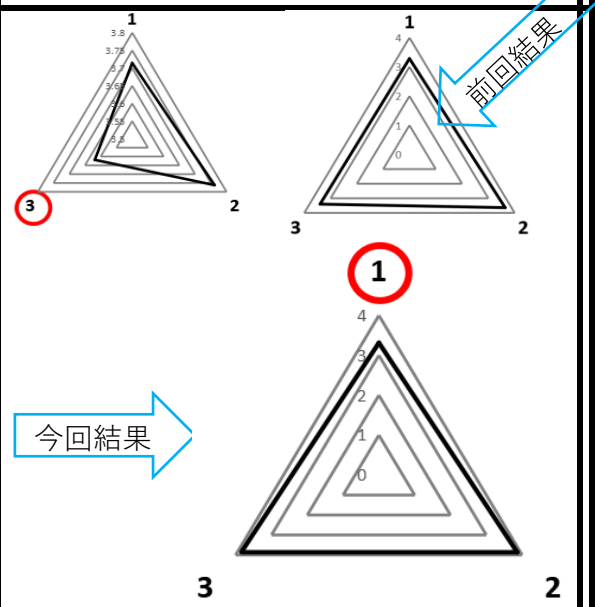


	自己評価項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	AVE	問題点の見える化(レーダチャート図)	問題点是正への取り組み方
1	保育の理念・目標・計画・評価							・昨年、職員評価の低かった「各年齢の発達段階に合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している」という面では、職員の意識も高まり改善されている。今年度は前年度に比べると「担任間で話し合っ て、保育目標を立てている」という面が低くなっている。まずは、担任が子どもの成長過程、年度末までに 育ってほしい姿を明確にし、クラス担任で共有して保育を進めていくことが重要と考える。保育理念にもあ るように、それぞれの個性を尊重しながら、心身の健全な発達を促す保育を全職員で目指していきたい。
	1 園の保育方針を理解している。	8	12	2	0	3.273		
	2 園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている。	4	11	1	1	3.059		
	3 担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	7	6	4	1	3.056		
	4 各年齢の発達段階合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	11	7	3	0	3.381		
	5 自らの保育を振り返り、向上や改善に務めている。	7	12	3	0	3.182		
2	保育の内容							・保育内容に関しては、全体にバランスがとれてきたように感じる。子ども達も登園を嫌がらず、様々な行事にも楽しんで参加する姿がみられた。安全・環境・衛生面の整備徹底は定着してきた。今後も、安全麵、衛生面には十分配慮し、保育環境を整えていきたい。また、保育内容等もマンネリ化しないよう考慮していきたい。
	1 保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	5	16	1	0	3.182		
	2 子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	10	11	1	0	3.409		
	3 子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	16	7	0	0	3.696		
	4 身体的、精神的、情緒的発育等、多面的に子どもの状態を把握している。	6	13	3	0	3.136		
	5 保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	11	10	1	0	3.455		
	6 行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	5	14	2	1	3.045		
3	保育園の組織・役割分担							・昨年に比べ、職員数が減ったこともあり、一人に課せられる役割が増えた観がある。自分に課せられた仕事に対しては責任もって行うが、全体的な活動時など、自主性が見られない。今後は、役割以外でも自主的に仕事を見つけ、積極的に動けるよう一人ひとりが意識を高めていきたい。 ・ICTツール使用にも慣れ、スムーズに活用できるようになってきた。以前に比べ情報の共有化もみられるが、「報告・連絡・相談」の「報告」漏れがが多々ある。今後も「報告・連絡・相談」を徹底していきたい。
	1 職場内で連携がとれている（連携をとるように努めている）。	4	15	4	0	3		
	2 研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	5	9	5	1	2.9		
	3 職員間で「ほうれんそう(報告・連絡・相談)が出来ている。	4	12	7	0	2.87		
	4 職場の中で各職員が自分の役割を理解している。	7	13	2	1	3.13		
	5 保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	7	8	4	2	2.952		
	6 各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	12	7	3	0	3.409		
	7 各職員が職員会などで必要と思う質問や意見を発言することができている。	6	7	6	1	2.9		
	8 研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に生かされている。	5	6	5	3	2.684		

		自己評価項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	AVE	問題点の見える化(レーダチャート図)	問題点是正への取り組み方
4		家庭・地域社会							・保護者や地域への対応は、職員一同気掛けて対応することができている。 ・今年度は、イオンタウン様との花植えや清掃活動も定着し、地域との関りも深まってきた。地域の活動においては、以上児クラス、特に年長児クラスが対応する為、数値的に低くなっているようだ。まずは、年長児クラスが地域の方々との関わりを深め、園全体での活動に繋げていければと考える。 ・ICT化への取り組みを更に進、保育士、事務員等の園内の業務軽減に努めていく。
	1	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	17	6	0	0	3.739		
	2	送迎時等に子どもの姿を保護者に伝えている。	12	6	3	0	3.429		
	3	保護者に子どもの伸びているところや課題を伝えるなど連携をとっている	8	10	1	1	3.25		
	4	家庭との連携を図るように努めている。	9	8	2	1	3.25		
	5	家庭環境及び食事習慣等園以外での子どもの状態を把握している。	4	14	3	1	2.955		
	6	地域や保護者の意見を保育等に反映している。	2	11	5	2	2.65		
	7	他園や関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている。	3	10	3	3	2.684		
5	8	保護者により対応を変えていない。	16	6	0	0	3.727		
		事務管理・運用							・個人情報の遵守には今後も務めていく。 ・ICTツールが定着してきたが事務業務のICT化進んでいない状況である。次年度は、保護者からの各種納付金の徴収を初めとする事務業務のICT化への取り組みを進めていきたい。
	1	個人記録簿は、適切に記載し、整理保管できている。	13	2	1	3	3.316		
	2	園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている。	19	3	0	0	3.864		
	3	金銭等を取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている。	15	3	0	0	3.833		

総 評

令和6年度も、地域の方との関わりを多く持つ機会をいただきました。イオンタウン様の花植えや、清掃活動も恒例となり、子ども達も楽しみにしています。次年度も地域の行事や小中学校体験学習受け入れを積極的に参加することで、保育士のスキルアップ、園や地域の活性化に繋がっていきたいと思います。併せて子ども達が成長するうえで大切な、人との関わり充実させていきたいと思います。

令和6年度は各職員が多分野にわたる研修会へ参加いたしました。次年度も積極的参加し、子どもたちの成長や発達に関する知識、子ども達一人ひとりに合わせて適切な保育を提供する技術のスキルアップを図り、職員の専門性を高め、更なるキャリアアップを目指していきたいと考えます。色々な経験、行事を重ねる毎に、子ども達の成長を感じ、目の当たりにする年でもありました。子ども達が経験を重ねることの大切さを改めて実感しました。幼児期の経験は、その後の自己肯定感、チャレンジ精神、人間関係能力など、人格形成や社会性に大きな影響を与えます。子ども達との信頼関係を築いた上で、たくさんさんの経験を重ね、子ども達の自信に満ち溢れた笑顔が見られる園でありたいと思います。経験豊富な職員が多い園です。その特徴を活かし、現在失われつつある、日本の四季、伝統的な文化、風習等もしっかり伝えていければと考えます。これからも子ども達の成長を一番に考え、職員が一丸となって保育に向き合う園を目指してまいります。

また、職員の業務軽減を進め、本来業務である子ども達と向き合う時間を増やし、園児の安全を確保するためにもICTツールの更なる活用に取り組んでいきたいと考えます。